

り、その中間的な取り扱いが可能な研究していきたい。

### デジタルミュージアムに

#### 岡山空襲の常設展示を

**問** 岡山空襲の悲惨さを語り継ぎ、平和について考えるため、デジタルミュージアムに岡山空襲の常設展示を。

**答** 実物展示も含め検討しているが、基本的には各種資料をほぼ永久的に保存可能なデジタル化により対応する考えだ。本市が所有する戦災資料については、平成16年1月頃デジタルコンテンツ化に着手する予定だ。

### し尿処理の代替業務提供

#### 収集許可台数確定へ

**問** し尿処理業者の収集許可車両は現時点で四十六台だが、使用されていない車両がある。今後の下水道整備に伴う合理化事業で、平成16年度以降の起点となる許可台数は。

**答** 一台当たりの適正収集量を二千三百一十七キロリットルと設定すると、各社の必要台数は15年度推計で三十二台となり、これに14年度の実稼働台数三十五台を考慮し、三十一台から三十五台の範囲内で各業者と協議を

行い台数を確定したい。

## 親和クラブ

### さんかく岡山

#### 公民館との連携強化へ

**問** さんかく岡山が行う男女共同参画推進の取り組みを地域へ広げるため、公民館と連携した普及啓発活動を推進しては。

**答** さんかく岡山の拠点性向上には、公民館との連携が不可欠と考え、平成15年度中に公民館職員の研修会を実施するとともに、16年度の推進週間には、市内三十二すべての公民館で関連行事が実施できるよう、環境づくり努めたい。

### デジタルミュージアム

#### 市民生活の資料を集積

**問** デジタルミュージアムのあり方として、単に資料のデジタル化だけでは価値ある映像資産になり得ないが、資料保存のコンセプトは。

**答** 民俗学的な理念から、市民生活に関する資料の集積に価値が生ずると考えている。そのため、データの保存コストが低く、さまざまな技術開発にも対応できるデジタル化の利点を生かしながら、市民等から寄せられる物や映像などをできるだけ多く保存したい。

### 本市の教育理念

**問** いじめ、不登校等の深刻な教育問題に対応するための教育基本法改正への考えは、今後の本市の教育理念は。

**答** 将来への夢や希望を持ってない子どもたちが増加する現状から、信頼される教育のあり方、家庭・学校・地域社会の役割や責任等の教育理念を明確にする時期に来ていると考える自立する子どもの育成を基本理念とする岡山「人づくり」プランに基づき、市民協働の人づくり、学校づくりの実現を目指すものだ。

## 政隆会

### 児島出張所

#### 平成16年度支所移行へ

**問** 本市行財政改革の一層の推進に向け、福田支所産業建設課の本庁移管の時期は、児島出張所の支所への格上げは。

**答** 平成16年4月から実施したい。その際、同支所が持つ水利管理での役割や歴史的意味を考慮し、技術の分かる職員を配置したい。小串連絡所の要員を削減し、証明書交付業務の郵便局への委託等でサービス水準を保ちながら、全体経費を抑える形で16年4月から実行したい。

### DV相談支援センター

#### 設置を前向きに検討

**問** DV防止法の見直しが行われているが、法改正で市に設置が可能になった場合、DV相談支援センターの設置を、加害者更生のための取り組みは。

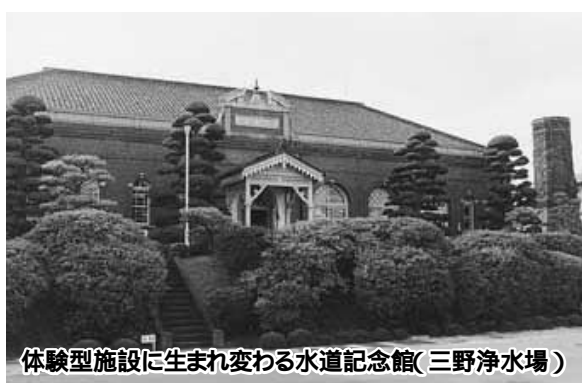
**答** 本市DVサポーター養成講座へ周辺市町から参加も多く、本市の動きに対する期待は高い。法案の動向を見守った上で前向きに考えたい。平成16年に向け、さんかく岡山のDV被害者支援研究グループに研究を

お願いしたい。

### 水道記念館

#### 改修で水の総合博物館へ

**問** 平成17年の水道創設百周年記念事業として行う、三野浄水場の水道記念館改修の概要は、入場者の増加策は。



体験型施設に生まれ変わる水道記念館(三野浄水場)

**答** 水に関して楽しく学べる体験型施設とし、館内を四つのゾーンに分け、水道の歴史や水と岡山の自然・風土との関わり等が理解できるものにする予定だ。特に、水の持ついやし効果を体験できる「水の総合博物館」にしたい。PRを市外へ拡大するとともに、ワークショップでの実験の充実や映像ソフトの複数選択化等により大人にも興味を持てるものになりたい。



男性も積極的に子育て参加へ  
(男性ルネサンス講座)